

# 普及だより

発行

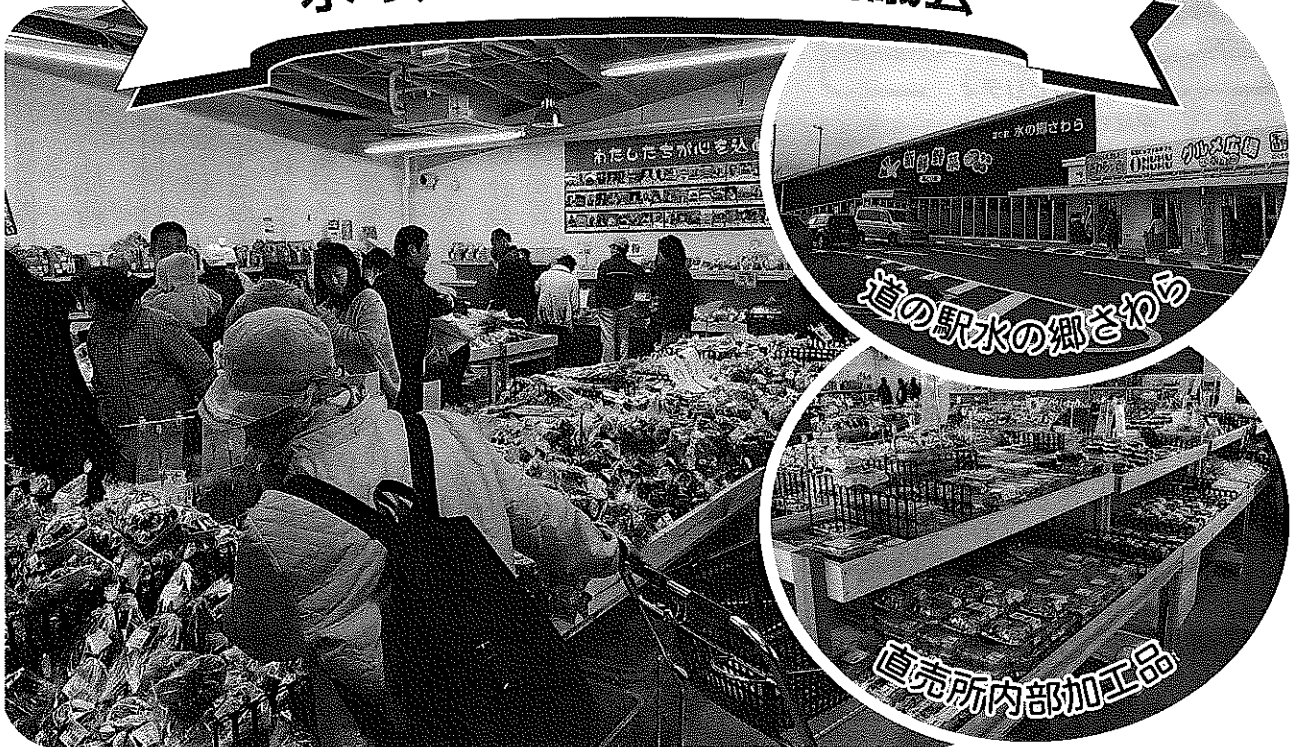
香取農林振興センター地域振興部  
改良普及課

香取地域農業改良普及事業協議会

分庁舎：〒287-0003 香取市佐原イ4149-57 TEL：0478-54-1338 FAX：55-1703  
ホームページアドレス <http://www.pref.chiba.lg.jp/apcenter/katori/>

## 来訪者100万人に感謝！！

### 水の郷さわら出荷者協議会



平成二十二年三月二十七日  
(土)に、道の駅「水の郷さわら」特産品直売所がオープンしました。

直売所出荷者二百四十一名（うち農業者百六十名）は、道の駅「水の郷さわら」出荷者協議会を組織し、香取市の特色を活かした農林水産物及び加工品等の安定供給を行っています。

また、来訪者との交流を図ることを目的に収穫祭・年末年始フェア等を実施しています。

初めての直売と言うことで、商品の品揃えに苦戦しつつも、生産・販売・PRイベントのやり方等ノウハウを習得しながら、元気に出荷をしています。

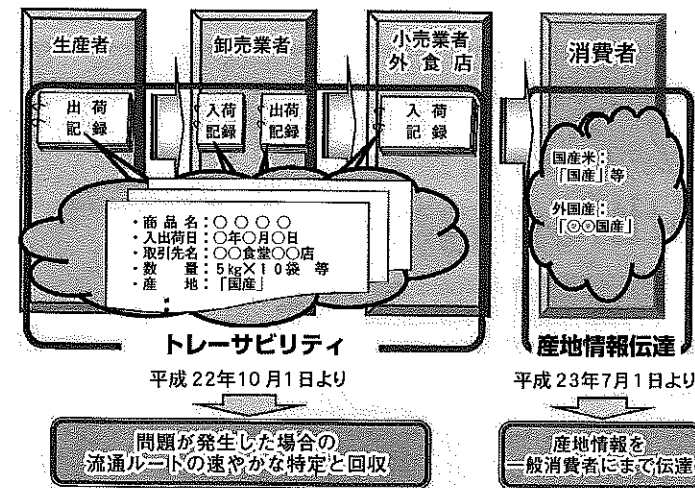
九月末に来場者は百万人を突破、販売額は当初予想を上まわる五億円を達成しました。

道の駅「水の郷さわら」は、交流と地産地消の拠点となるよう地域産品の充実を図っていきます。

「米トレーサビリティ法」平成二十三年十月一日より施行

米トレーサビリティ法が平成二十二年十月一日より施行されました。この法律は、米・米加工品の取引等をした際の記録の作成・保存および取引に伴う産地情報の伝達を義務付けるものです。

米・米加工品の取引等をした際の記録の作成・保存は平成二十二年十月一日から、義務付けられています。記録の保存が必要となるのは米・米加工品を取引、事業所間の移動、廃棄を行った場合であり、品名、産地、数量、年月日、取引先名、搬出入の場所、用途が限定されている米穀（加工用米など）はその用途を記録し、原則三年間保存する必要があります。実際の取引においては、上述した記録事項が記載されている伝票類（帳簿でも可）を保存しておくことで記録・保存の義務を果たしたことになります。



米・米加工品の取引に伴う産地情報の伝達は平成二十三年七月一日から義務付けられます。取引に伴う産地情報伝達が必要となるのは、米・米加工品を他の事業者へ譲り渡す場合、一般消費者に販売する場合です。詳細は、下記のお問い合わせ先までお願いします。

お問い合わせ先

関東農政局食糧部計画課 TEL：048-740-0099

千葉農政事務所

食糧部消費流通課 TEL：043-224-5615

地域 第三課 TEL：043-484-1207

米トレーサビリティ法についての情報は、下記のホームページをご覧ください。

[http://www.maff.go.jp/j/soushoku/keikaku/kome\\_toresa/index.html](http://www.maff.go.jp/j/soushoku/keikaku/kome_toresa/index.html)

二年連続でWCS用稲の取り組み面積大幅増へ

当管内では、香取市（浅黄正谷地区、新里地区、小見地区、香北地区、石納地区、西部田地区）と多古町（島地区）で取り組みられています。本格的にWCS用稲が取り組まれるのは三年目となり、今年度の栽培面積は



八十三・二ha（前年比一・七倍増）と大幅に増加しました。栽培面積が拡大する中で関係者が一体となって耕畜連携に取り組めるよう、需給調整、価格設定から実需者ニーズを満たすため品種選定、栽培管理や刈取り日程等を幅広く話し合うための香取市耕畜連携農業推進協議会を設立しました。今後、高品質のWCS用稲栽培ができるよう、現地検討会等を通じて実需者ニーズに合う栽培技術向上に取り組んでいます。

平成二十二年  
度

千葉県指導農業者・農業士

認証者の紹介

【指導農業者】



海寶 正一  
(東庄町)

北総地域で最大規模のカーネーション五十六aを経営しています。

「第五十一回関東東海花の展覧会」では農林水産大臣賞を受賞し、高品質なカーネーションは市場や地域で高い評価を得ています。

また、農業全般にわたる活動の中で人望も厚く、今後も地域のリーダーとして活躍が期待されています。



加瀬由美子  
(香取市)

ニンジンを基幹とした、露地野菜経営(延べ作付面積九・一

ha)をしています。

安心・安全農産物生産を目的に、有機JAS認証等を取付し、産直やインターネット販売をしています。

自ら有機JASの生産工程管理責任者の資格を持ち、経営内では帳簿の管理を担っています。

【農業士】



横田 勝  
(東庄町)

水耕ねぎ栽培を主体とした施設野菜経営をしています。

パソコンを活用した生産管理を行い、作業改善項目を点検しながら効率化と生産コストの低減に努めています。

現在、JAかとり青年部東庄支部の副支部長として活躍しています。



前林 陽介  
(多古町)

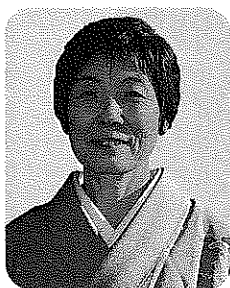
シクラメンとアジサイの鉢物を主体とした施設花き経営をしており、全国三十社以上の市場と取引をしています。

現在、千葉県鉢花青年部に所属しており、花き青年農業者のリーダーとして後輩の指導を行っています。



千葉県功労者表彰受賞

林 藤江氏 (香取市)



去る十一月三日に千葉県庁において、男女共同参画部門で千葉県功労者表彰を受賞しました。

平成九年に初の女性千葉県指導農業者として認証され、平成十年には香取及び千葉県内の女性農業経営者の組織化に尽力するなど、県内の女性経営者の牽引役となりました。

また、地域では農業シンクタンク委員、家族経営協定の推進、

他の団体との連携によるフォーラムの開催等、数多くの功績が認められました。

これからも、引き続き活躍されるのが期待されています。

かとり虹のフォーラム開催

平成二十三年一月十八日午後一時から、「地域をつなごう」と人と人「心と心」をテーマに香取市佐原中央公民館で第四回かとり虹のフォーラムが開催されます。

香取地域の女性団体リーダーや千葉県男女共同参画いきいきアドバイザー、香取郡市指導農業者協会が実行委員会を組織し、九月から企画を練ってきました。当日は、各地域より五名の方々から「地域づくり」の実践事例が報告されます。

香取地域が住みよい地域になるよう、皆様とともに考えてみませんか。参加希望者は、下記まで申し込みください。

香取農林振興センター改良普及課  
担当：竹内・菅・田

電話：〇四七八(五四)二三三八  
FAX：〇四七八(五五)一七〇三

# 農薬は適正な使用を

「食の安全・安心」に対する社会的な関心の高まりとともに、農産物の安全性確保の取り組みが重要になっていきます。

農薬の不適正な使用は、消費者の健康保護の観点から、あつてはならない行為であるとともに、使用者においても危険な作業であり、大きな代償を伴うものです。

農薬は登録制度に基づき、安全性の評価を行い、安全・適正な使用を定めています。登録された農薬は正しく使用されてこそ、安全性が確保されるものです。

使用前に必ず農薬のラベルを確認し、適用登録の有無、希釈倍数、使用量、使用方法、使用時期(収穫前日数)、成分の使用回数を確認してください。

また、防除器具が十分洗浄されているか確認するとともに、農薬散布時は風が弱い時に、風向きや位置・方向・周辺住民や環境等に十分配慮して作業しましょう。

しかし、自分の注意だけでは、飛散などの農薬事故のリスクは防げない部分があります。

地域や組織が一体となって、農薬飛散防止の為に体制を整え、次のような取り組みを実施しましょう。

### ① 作付の工夫

ソルゴーなど障壁作物の播種や隣との作付間隔を広げたり、栽培品目を変えるなどの工夫をしましょう。

### ② お互いに連絡を!

周りで収穫直前の作物がある場合は、散布日を変更するなど調整しましょう。

また、収穫期が近い場合には旗等で目印を立て、周りの農家に知らせることも重要です。

### ③ 防除方法の見直し

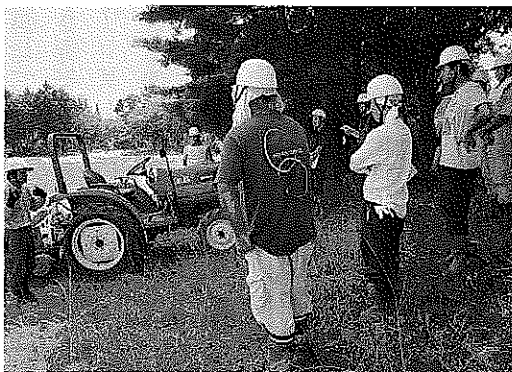
耕種的防除の導入、粉剤から粒剤への転換や病害虫発生情報を利用して生産資材・防除方法の再検討も必要です。

農薬の不適正使用や事故があれば、被害者への補償や生産物の出荷停止、自主回収により経

営が圧迫されるだけでなく、産地の信頼が大きく傷ついてしまいます。使用基準の遵守と危害防止対策の徹底をお願いします。

## 平成二十三年度 新規受講生募集中!

★青年の新規就農者を対象とした三年制の勉強会「農業経営体育成セミナー」を平成二十三年五月に開講します。



農業機械の安全操作研修

研修内容は、病害虫防除や土壌肥料、農業機械保守点検などの基本知識、野菜・水稲など部門ごとの生産技術や経営技術について、講義や優良事例の視察

を通して学びます。  
★定年退職等を契機に農業経営に取り組む中高年の方を対象に、「いきいき帰農者等研修」を実施します。

参加を希望する方はご連絡下さい。

### ◎申込・問合せ先

千葉県香取農林振興センター  
改良普及課

〇四七八(五四) 一三三八

## 平成二十三年度

### 学生募集中!

農業のスペシャリストを目指す、千葉県立農科大学の学生を募集します。

【受験資格】▼農学科・高等学校を卒業した者又は二十三年三月卒業見込の者▼研究科・都道府県の農科大学校等を卒業した者又は二十三年三月卒業見込の者  
【願書受付】▼A日程・平成二十二年一月二十日(月)〜一月五日(水)▼B日程・平成二十三年二月九日(水)〜二月二二日(火)

◎問合せ先 千葉県農科大学校

〇四七五(五二) 五一二一